

公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会 ニュース (WEB版) No. 76 (115)



総会員 2722 名 (7/17 現在) URL:<http://infokpta.com/>

e-mail:infokpta@po.minc.ne.jp



平成 30 年度 日本理学療法士協会 協会賞受賞に関して.....	2
第 31 回鹿児島県理学療法士学会 受賞者紹介.....	3
診療報酬・介護報酬同時改定を踏まえた今後の方向性について.....	4
H30 年度入会 新卒者オリエンテーション.....	6
かごんま造士館 (ふるさとリーダー育成塾) に参加して.....	7
第 32 回鹿児島県理学療法士学会のご案内.....	8
第 32 回鹿児島県理学療法士学会演題募集要項.....	9
学術資料部より.....	11
鹿児島県理学療法士協会専門領域研究部研修会のご案内.....	12
私と私の職場.....	13
私のおすすめ.....	14
先輩認定理学療法士よりアドバイス.....	15
事務局より.....	16
編集後記.....	17

「国旗日の丸のふるさと」
垂水 道の駅

2018. 7. 30

◆発行：
公益社団法人
鹿児島県理学療法士協会

◆発行人：梅本昭英

◆編集：大迫尚仁

◆事務局：

〒890-0063

鹿児島県鹿児島市

鳴池 1 丁目 48-25

TEL : 099 (203) 0860

FAX : 099 (203) 0865

平成 30 年度 日本理学療法士協会 協会賞 受賞に関して

学術担当理事 大重 匡

このたび、平成 30 年度公益財団法人日本理学療法士協会 協会賞を受賞致しましたので、謹んでご報告申し上げます。栄えある協会賞を頂きましたこと、感激にたえません。私がこのような栄誉な賞は自分に縁のないものと思っておりましたので、授賞の通知を受けて、唯々驚きました。

授賞式が終わって今思うことは、この栄誉はけっして自分だけの成果ではないということです。これまで自分を温かく指導し育てていただいた先輩の皆様と、自分を支えてくれた日本理学療法士協会研修部と鹿児島県理学療法士協会理事の皆様のお蔭であると実感しています。今後も、多くの人たちとの絆を大切に、士会の仕事に邁進していきたいと思えます。

最後になりましたが、このような晴れがましい機会を与えていただいた鹿児島県士会の皆様に御礼申し上げます。



日本理学療法士協会会員 昭和57年4月～現在

日本理学療法士協会 会員歴 37年

公益社団法人 日本理学療法士協会

研修部部員 平成19年7月1日～平成25年6月30日

企画研修小委員会 委員

平成25年7月1日～平成27年6月30日

日本理学療法士協会 部員歴 8年

公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会

教育部理事 平成3年4月～平成19年3月

学術部理事 平成19年4月～現在

鹿児島県理学療法士協会 理事歴 27年

第31回鹿児島県理学療法士学会 受賞者紹介

平成30年3月18日に開催された、第31回鹿児島県理学療法士学会の表彰式が、平成30年5月20日鹿児島大学鶴陵会館にて研修会・総会終了後行われました。表彰された先生方のコメントを以下に紹介します。

学会長受賞 垂水市立医療センター垂水中央病院 竹下 康文先生

演題名;電気刺激療法と装具療法の併用により、歩行能力が改善した慢性期腓骨神経麻痺の1例

この度は、学会長賞という名誉ある賞を頂き非常に光栄です。また、私自身今回が初めての学会発表でしたので、優しく、丁寧に、御指導頂きました職場の先生方に感謝申し上げます。

今回は電気刺激と装具療法の併用により、歩行能力が改善した慢性期腓骨神経麻痺の1例について症例報告をさせていただきました。今回の経験から、普段臨床で行っている訓練の治療効果を、客観的に評価していくことの重要性を改めて実感しました。また、自然回復が難しい慢性期の疾患に対しての治療であったため、治療していく段階では不安もありました。しかし、日々の少しずつの変化を喜んでくださる患者様の反応が、私自身の大きな励みになりました。最終的には患者様の目標であった職場復帰を果たすことができたため、理学療法士の仕事の醍醐味を知ることができた気がします。

今後も臨床・研究ともにより一層研鑽を積み、EBPTを確立する上での一助になればと思います。

学会奨励賞受賞 社会医療法人緑泉会 米盛病院 山口 夏希先生

演題名;T字杖歩行と階段昇降に着目した人工股関節置換術後経過について

この度は、学会奨励賞という素晴らしい賞を頂き誠にありがとうございます。また、研究を行うに際し、ご指導頂いた上司・スタッフの方々に感謝申し上げます。

今回の研究は、人工股関節置換術後患者に対して、バランス評価を用いたリハビリテーションの進め方について、術後経過の現状を知り今後の課題を抽出することを目的として実施しました。研究としては初期の段階ですが、日々の臨床現場で自分達が行っている評価の意味や現状の結果を周知することで、リハビリスタッフ間や他職種で今後の課題を確認・討論する良い機会になったと感じています。

今後も、臨床に向き合い精進していきたいと思っています。

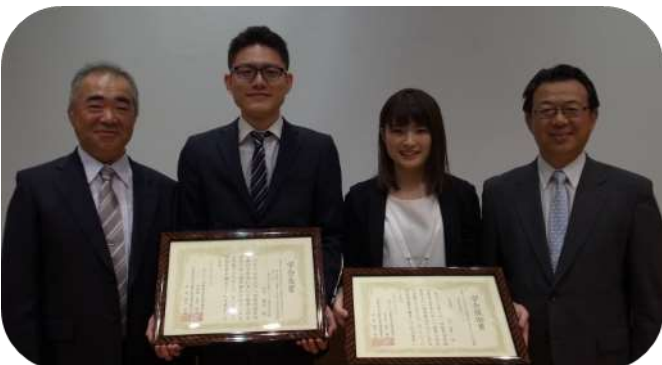
*学会の様子は

HP <http://infokpta.com/publics/index/126/>

で報告しています。ご覧ください。

表彰式時写真

(左より、弥栄学会長、竹下 康文先生、
山口 夏希先生、梅本会長)



平成 30 年度診療報酬・介護報酬同時改定を踏まえた今後の方向性について

保険担当理事 白木信義

今年度は診療報酬、介護報酬の同時改定の年となり、改定後、数ヶ月を経た今、現場で働く皆様方も少なからずその影響を感じていらっしゃるのではないのでしょうか。高齢化の進展と人口減少に伴い保険財政が逼迫するなかで、社会保障制度をいかに効率的に運用していくかが求められています。そういう社会情勢の中で「地域包括ケアシステム」というキーワードのもと中長期的な視点に立った対応が求められ、今回の改定はその具体的な方針を示したものになっております。それは我々理学療法士の今後の働き方、目指すべき方向とも関連しており、その変化に対応していくためには日々の臨床の場で結果を出し、その結果を伝えることが重要であると考えます。

質の向上、アウトカムの重視、それも重要なキーワードになっていますので社会における私たち理学療法士の役割を明確化し、国の施策へ反映させるためにも鹿児島県理学療法士協会をご活用いただければと思います。

以下、今回の診療報酬、介護報酬の主な改定項目について列举させていただきますが、詳しい内容等につきましては 先日、外部の研修で作成させていただいた資料を県協会のホームページにアップさせていただきますのでご参照ください。あわせて、厚生労働省のホームページにて正式な資料、疑義解釈等をご確認ください。

■診療報酬

- ・関係機関の連携強化に向けた退院時共同指導料の見直し
- ・回復期リハビリテーション病棟入院料の評価体系の見直し
- ・特定集中治療室管理料等の見直し
- ・ADL 維持向上等体制加算のアウトカム指標(院内褥瘡発生率)の基準の見直し
- ・理学療法士等の訪問看護の適正化
- ・疾患別リハにおける算定日数上限の除外対象患者の追加
- ・維持期・生活期リハの介護保険への移行
- ・医療と介護の連携に資するリハ計画書の様式等の見直し
- ・認知症治療病棟に係る評価の見直し
- ・脳血管疾患等リハ料の対象患者の見直し
- ・医師等の従事者の常勤配置に関する要件の緩和

■介護報酬

- ・施設基準の緩和、人員要件の緩和、器具の共有(通所)
- ・医療と介護におけるリハビリテーション計画書の様式の見直し(訪問・通所・予防訪問・予防通所)
- ・リハビリテーションマネジメントの見直し(訪問・通所)
- ・介護予防におけるリハビリテーションマネジメント加算の創設(予防訪問・予防通所)
- ・訪問リハビリテーションにおける事業所の医師の診療にかかる取り扱い(訪問・予防訪問)
- ・リハビリテーション専門職の手厚い配置に対する評価(通所)
- ・社会参加支援加算の要件の明確化等(訪問・通所)
- ・生活行為向上リハビリ実施加算の拡大(予防通所)
- ・自立支援・重度化防止のためのアウトカム評価の拡大(予防訪問)
- ・自立支援・重度化防止に向けたデータの収集(訪問・通所)
- ・栄養改善の推進(通所)
- ・基本報酬の見直し等(訪問・通所・予防通所)
- ・離島や中山間地域等の要介護・要支援者に対する評価(訪問・予防訪問)
- ・同一建物等居住者にサービスを提供する場合の報酬(訪問・予防訪問)



理学療法士はあなたの生活を支援します。

本会は、会員の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技術の向上を推進し、国民の医療及び保健の充実に並びに福祉の向上に寄与することを目的として設立された公益社団法人です。

【リハビリテーションとは】
いろいろな障害を持った人々に対し、その障害を可能な限り回復治療させ、残された能力を最大限に高め、身体的・精神的・社会的にできる限り自立した生活が送れるように援助することです。
そして、すべての人々がよりよい社会生活が送れることを目指し、医師を中心に看護師、理学療法士、作業療法士その他大勢のスタッフが互いに協力し行っている医療のことです。

理学療法士は、いろいろな分野で活躍しています。

臨床実習関連

第31回鹿児島理学療法士学会

過去の学会記録

訪問リハ研究会

事務局より

リンク集

個人情報保護方針

サイトマップ

一般の方
くわしくはこちら

異動・各種手続きについて
くわしくはこちら

研修会のご案内
各案内文書をご参照ください。
くわしくはこちら

会員専用ページ
診療報酬等を利用しています。
※会員登録/パスワードのリセットは
必須となります。
くわしくはこちら

「会員専用ページ」内に、診療報酬・介護報酬改定に関する資料を掲載しておりますので
ご活用下さい。

H30 年度入会 新卒者オリエンテーション

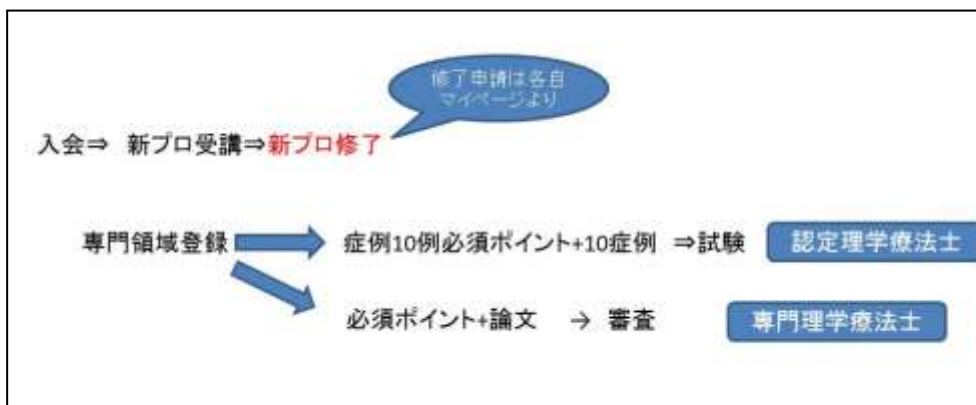
生涯学習部担当理事 生駒成亨
部長 横山尚宏

4月15日に鹿児島大学にて新卒者オリエンテーションを開催しました。会長のあいさつにはじまり、施設・病院等で働き始めるうえで大切な「理学療法と倫理」これから理学療法士として働いていく上で職域の問題や診療報酬関係が必要となってくる「理学療法連盟政策」、また日本理学療法士協会についての入会案内等について講義・説明を行いました。会場はほぼ満席でした。今年度、現在まで152名のあらたな仲間が増えました。みんな、一緒に成長していきましょう。



〈新卒者オリエンテーション講義風景〉

また、近年の勤務体制に応じて新人教育プログラムについても同じテーマで年2回計画しています。ぜひ調整していただき、早めの申し込み・受講をお願いします。新人教育プログラムは、日本理学療法士協会全国共通の資料で講義を行っています。(eラーニングでも受講可能です。参加が厳しい方はぜひそちらを検討下さい。詳しくは日本理学療法士協会HPをご参照ください。)履修確認は、日本理学療法士協会マイページより、確認できます。修了後、認定・専門PT制度へと進みます。



詳細は日本理学療法士協会HPをご覧ください。

かごんま造士館(ふるさとリーダー育成塾)に参加して

政策検討委員会委員長 湯地 英充

かごんま造士館とは、「鹿児島から、日本を造る」をコンセプトに「次世代のリーダーを鹿児島から!、未来を造る仲間になろう」を合言葉として異業種の若者が集まり、日本を取り巻く国際社会や国内環境の課題に対して10回/年の研修・体験を通して切磋琢磨しながら研鑽する場です。



- ・自衛隊の体験入隊
- ・地域の活性化を推し進める団体の視察(廃校を活用した宿泊施設・地元ブランドの養豚業など)
- ・IT、政治、金融、など各種専門家による講演など

年間を通じて、異業種の方と接することや同世代のリーダーからのメッセージをいただくことで、社会のしくみや様々な情勢に興味を持つことができ、さらには自分のフィールドであるリハビリテーションについても違った視点で考える機会ができました。

鹿児島県理学療法士協会でも、今年度より、若い理学療法士が次世代のリーダーになるべく、知識と経験・人と人とのつながりを持てる機会を提供し、鹿児島県に携わる理学療法士の人材育成を目的とし、「鹿児島県理学療法士リーダー塾」を企画しました。

理学療法士の未来を考え…想いをかたちに…一緒に考え、一緒に成長できる仲間を募集しています。

【今後の研修会予定】

・9月 講師 山内 倫裕氏(鹿児島銀行医業推進部)

テーマ 「限りある財源から日本(鹿児島)の医療を考える」
～リハビリ関連職種に求められるサービスとは?～

・11月 講師 井ノ原 裕紀子氏(リンパ浮腫のトータルケアサロン Her's(ハーズ)代表)

テーマ 「患者と向き合う理学療法のトータルケアを考える」
～自費診療で患者と向き合う女性理学療法士の想い～

・2月 講師 中武 貞文氏(鹿児島大学 産学官連携センター所属)

テーマ 「異業種が連携して生まれる新たな産業展開」
～協調・連携意識をもつことで生まれる新たな価値の創出とは～

※各研修会は随時、広報(ホームページ等)致しますのでよろしくお願い致します。

第 32 回鹿児島県理学療法士学会のご案内

学会長 山中 純

会員の皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。

今年度、第 32 回鹿児島県理学療法士学会を南薩地区で開催することとなりました。南薩ケアほすびたるの畑中信也先生を準備委員長とし、南薩地区会員が中心となり、準備委員一同、開催準備を進めております。

学会の詳細につきましては、今後、県協会ニュースや県協会ホームページにて随時ご案内させていただきます。

第 32 回鹿児島県理学療法士学会演題募集要項を併せて掲載いたします。応募演題に関する倫理と利益相反に関する注意点を熟読していただき、多数の会員の皆様に応募して頂ければ幸いです。

南薩地区での開催は 10 年ぶりとなりますので、多くの会員の皆様にご参加頂けるよう企画・準備中です。当日は多くの会員の皆様とお会いできることを楽しみにしています。

記

開催日：平成 31 年 2 月 24 日(日)

会 場：コミュニティセンター川辺文化会館

第 32 回鹿児島県理学療法士学会演題募集要項

学 会 長 山 中 純
学 会 準 備 委 員 長 畑 中 信 也

謹啓 時下ますますご健勝の事とお慶び申し上げます

さて、第 32 回鹿児島県理学療法士学会を平成 31 年 2 月 24 日に、コミュニティセンター川辺文化会館で開催する運びとなりました。つきましては多数の応募をお願いしたく、以下の要領にてご案内いたします。

演題応募についてご不明な点は以下のお問い合わせ先までお問い合わせください

演題募集要項

I. 応募資格

公益社団法人鹿児島県理学療法士協会会員に限ります。

共同演者も理学療法士は日本理学療法士協会会員に限ります。それ以外の職種についてはこの限りではありません。

(以下の演題分類表より選択してください)

01. 基礎理学療法 02. 神経理学療法
03. 運動器理学療法 04. 内部障害理学療法
05. 生活環境支援理学療法 06. 物理療法
07. 教育・管理理学療法 08. その他

なお、発表形式は学会長の判断で決定致しますので、ご了承ください。

II. 応募方法

1. E-mail にて下記の応募記載項目を記載し、演題原稿ファイルを添付して送信してください。演題原稿ファイルにつきましては、「IV」の作成要領に従って作成してください。E-mail を利用できない場合は、末尾のお問い合わせ先までご連絡ください。
2. 送られてきたメールのアドレスを今後の連絡用メールアドレスとして使用させていただきます。連絡用に別な連絡用アドレスを希望される場合はその旨をメールに記入してください。
3. E-mail 受信後 1 週間以内に受信確認の返信メールをお送りします。1 週間経っても返信メールが届かない場合はお手数ですが末尾のお問い合わせ先までお問い合わせください。
4. 応募記載項目
メールタイトル:「32 回県学会演題応募」
 - ① 発表演者の氏名、会員番号、所属施設
 - ② 共同演者の氏名、職種、会員番号(理学療法士のみ)
 - ③ 演題タイトル
 - ④ 演題分類番号

III. 演題応募期間(期間厳守)

平成 30 年 8 月 1 日(水)14:00 から
平成 30 年 10 月 20 日(土)14:00 まで

IV. 演題原稿ファイル作成要領

1. 原稿のファイル形式は Microsoft Word 形式とします。フォント:MS 明朝、サイズ:10.5 で作成してください。
2. 演題タイトル、氏名、所属施設、本文の順番に改行して記載してください。
3. 氏名は発表演者を先頭にし、発表演者名の前には○を付けてください。
4. 共同演者は筆頭演者の後ろに記載し、各氏名の間にはスペースを付けてください。他職種は例に従い、職種を記載してください。
例:○○△△(MD)
5. 所属施設が複数ある場合には、氏名の後ろに番号を振り、番号順に改行して記載してください。
6. 本文(演者名・所属を除く)の文字数は 1400 字以内を厳守してください
7. 本文には【目的】・【方法】・【結果】・【考察】・【まとめ】
【倫理に関する記述】等の小見出しを付けてください。

8. 図表は使用しないでください

なお、学会誌のフォント、レイアウト等は学会側で調整させて頂くことをご了承ください。

V. 応募上の注意

1. 応募された演題と学会当日の発表内容が大幅に異なることのないようにしてください。
2. 発表演者として複数の演題に応募することは認められません。1人1演題を遵守してください。
3. 本文中に研究対象にとって不利益となるような属性(人名、施設名等)を記載しない等、プライバシーポリシーに配慮してください。
4. 演題原稿に関する著作権は第32回鹿児島県理学療法士学会および筆頭演者に帰属し、学会誌へ掲載されます。
5. 採択後の演題取り消しはできませんので、ご注意ください。
6. 発表演者が発表できない場合は必ず共同演者(本会会員)が発表を行ってください。

VI. 応募演題に関する倫理と利益相反に関する注意点

○ヘルシンキ宣言等(倫理的な配慮)に沿った研究であることを確認し、説明と同意や個人情報保護などの倫理的な配慮に関する記述をしてください。

○厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」をよく理解して対応してください。

○必ず本文中の【倫理に関する記述】欄を設け倫理に関する記述をしてください。記述がない場合は取り下げの場合があります。

○倫理委員会の承認を得ている場合には、承認番号を記載してください。

○研究対象にとって不利益となるような属性(人名、施設名等)を記載しない等、プライバシーポリシーに十分配慮してください。

○利益相反の可能性のある事項(寄付金など)がある場合、研究助成がある場合はその旨を明記してください。

○これらについては、すべて登録者の自己責任において登録を行ってください。

※上記の注意点の記載に不備がある場合は演題不採択となる場合があります。

VII. 発表形式について

1. 発表形式は学会長の判断で口述発表かポスター発表かを決定致します。
2. 発表時間は7分以内、質疑応答は3分以内とします。(演題数により変更される場合があります。)
3. 口述発表スライド作成要領
 - 1) PC プレゼンテーションを使用し、ファイル形式はMicrosoft Power point 形式とし、スライド枚数は発表時間内であれば特に制限を設けません。
 - 2) 動画及びアニメーションは使用できませんのでご注意ください。
4. ポスター作成要領
 - 1) ポスター掲示には、ポスターパネルを用意いたします。
 - 2) 演者は指定された時間帯に従ってポスターの貼付及び撤去を各自行ってください。
 - 3) ポスター掲示面積は縦150cm×横90cmです。パネル左上に演題番号を学会側で用意いたします。その右側に縦20cm×横70cmのサイズで演題タイトル・所属・氏名(発表演者の氏名の前に○)を表記してください。示説スペースは縦130cm×横90cmです。

VIII. 演題審査

演題の採択は学会の査読委員による結果を参考に、学術的発表に資する演題と学会長が判断したものから選出し決定します。採否結果通知は12月中旬頃を予定しています。

IX. 生涯学習のポイントについて

発表演者は新人教育プログラムの単位として認められます。また、認定理学療法士・専門理学療法士制度の履修ポイントは「県学会」の演題発表のポイントとなります。

X. 応募先およびお問い合わせ先

第32回鹿児島県理学療法士学会
準備委員長 畑中信也
(南薩ケアほすびたる)

E-mail: kkpta32gakkai@gmail.com

TEL:0993-56-1155 FAX:0993-56-1157

学術資料部より

学術担当理事 大重 匡
学術資料部長 白尾 麻美

学術資料部では、学術部主催研修会でのビデオ撮影とDVD保存、貸出と管理業務を行っています。他研修会の撮影もしくは機材の貸出希望についても、可能な限り対応します。

下記に貸出資料の一部を掲載します。

H28	第1回	5月22日	診療報酬制度におけるリハビリテーションと地域包括ケアシステムを勝ち抜く戦略
	第2回	6月5日	栄養管理と理学療法 ～リハビリテーション栄養について～
	第3回	12月11日	理学療法士が知っておくべきリスク管理とフィジカルアセスメント
H29	第1回	5月21日	サルコペニアについて
	第2回	12月10日	疼痛と脳血管障害に対するTENS
	第3回	2月4日	肩関節の理学療法
	特別講演	1月28日	これからの理学療法士の展望
H30	第1回	5月20日	保健衛生業の職場で用いる産業理学療法
	第2回	8月26日	慢性腎臓病患者の理学療法評価と運動療法 (撮影予定)
	第3回	9月30日	動作分析 ～評価と理学療法～ (撮影予定)

貸出の際は、資料代500円、DVD代1枚につき200円、別途送料(360円～510円)が必要となります。

御希望の方は、①会員番号、②氏名、③所属施設、④送付先、⑤開催日程およびテーマを明記の上、shirao@minami-ac.jpまでお申し込み下さい。貸出資料一覧表を御希望される場合も、メールにてお知らせ下さい。

理学療法士の資質向上のため学術資料を活用して頂きたいと考えております。皆様の依頼を心よりお待ちしております。

鹿児島県理学療法士協会専門領域研究部研修会のご案内

専門領域研究担当理事 大渡 昭彦
部長 牛ノ濱 政喜
 鍛崎 誠二
 松田 史代

専門領域研究部では小児系、呼吸器系、神経系、生活環境支援系、運動器系、スポーツ系、循環器系、トピックス領域の研修会を開催しております。

各領域の先生方にご尽力頂きまして、臨床にいかせる実践的な研修内容となっております。

研修会予約は事前登録制になっており、領域ごとに受付内容や注意事項が異なります。

詳細内容については県士会ホームページに掲載されます各領域の案内状をご覧ください。

会員の皆様のたくさんの参加をお待ちしております。

※注意事項:研修会予約の際に以下をご確認ください。

- ① キャンセルのないように、申し込む前にスケジュールを再度ご確認ください。
- ② 勤務先・氏名等の会員情報変更がある場合、必ず異動申請手続きを行ってください。
- ③ 年会費未納の状態では、申込できません。(前納制にかわり会費が支払われていないと会員権利が停止されているため、受講できません)。
- ④ 緑色の会員証を持参してください(各研修会によって異なります、案内状をご参照ください)。
- ⑤ 県内のPTを優先致します。他職種はOT・STに限らせていただきます。

※参加する前に県士会ホームページを再度ご確認ください。

(悪天候等により予定が変更になる場合があります)

いつも、協会ニュースをご覧いただきありがとうございます。

今回より、各研修会案内を鹿児島県理学療法士協会ホームページへ一本化させていただきたいと思っております。

研修会を確認する際は、ホームページ内にあります「**研修会案内**」をご確認ください。

編集部 大迫尚仁

私と私の職場

医療法人聖仁会 南薩ケアほすびたる
木場 涼介

みなさん、こんにちは。医療法人聖仁会 南薩ケアほすびたるリハビリテーション室です。

当院は、薩摩半島の南に位置する南九州市川辺町にあり、高齢化率が平成29年12月現在で36.2%と、多分に漏れず高齢化の進んでいる地域になります。その中で、在宅・地域・医療機関が連携を図り、住民の皆さんが安心して健やかに生活できるように地域に密着した医療を目指しています。

施設としまして、150床の病床数を有しており、うち一般病棟が24床、医療療養型病床が99床、介護療養型病床が27床あります。また、人工透析を入院外来合わせて18床で行っています。今後、地域包括ケア病棟、介護医療院への転床、また在宅支援への一環として、訪問リハビリテーション、短時間通所リハビリテーション開設の準備が進んでいます。施設基準は、脳血管リハビリテーション料Ⅰ、運動器リハビリテーション料Ⅰ、呼吸器リハビリテーション料Ⅰを有しており、スタッフは理学療法士7名、作業療法士3名、言語聴覚士2名、マッサージ師2名、アシスタント2名の合計16名が在籍しています。

病床機能として、生活期の方が主な対象となり、より良い療養生活を送るためのサポートができるようにそれぞれのセラピストが、「何ができるか」を考えながら日々の業務にあたっており、一般病棟に入院されている方は在宅復帰あるいは施設への再入所に向けて、他職種と連携し、スムーズに退院できるようサポートを行っています。また、院外での研修会への参加はもちろんのこと、院内でも症例検討会、伝達講習会等を定期的に行い、対象者に少しでも還元できるように日々研鑽を積んでいます。

今後、療養施設でのリハビリテーションは、地域に根差したものが必要であると考えます。少しでも地域に認められる施設となるようにこれからも近隣施設、地域コミュニティとの連携を図っていきたいと思います。



私のおすすめ

医療法人玉昌会 加治木温泉病院
総合リハビリテーションセンター
尾付野友紀

姿勢分析や動作分析をする上で運動連鎖を理解することはとても大切なことだと思いますが、そのメカニズムを理解した上でどのようにアプローチしていくかを考えることも同様に必要であり、私自身臨床においてより一層理解を深めていきたい内容でもあります。

本書は理学療法のなかで「ヒトの動き、運動連鎖をどうとらえ、また分析するか、それに基づきどのように理学療法を進めていくか」について、著者らが日頃より実践している、独自の障害・痛みに対するアプローチ法、理学療法のノウハウを解説する一冊となっています。また、人間の全身の動きと役割を理解し、患者の動きを分析し、理学療法で効果を上げているかを主眼として写真や図を多用しながら、どのようにすれば良い結果(構造と機能、特に機能の維持・回復)が出せるのか、著者らの今までの豊富な臨床経験に基づき、理学療法の進め方について解説された内容となっています。

上肢、体幹、下肢それぞれからみた運動連鎖や動作のとらえ方、評価方法、アプローチ方法が写真や図とともに記載されており、臨床に役立つ内容が多くあります。その為、臨床場面での疑問や問題を解決へと導くきっかけになるのではないかと思います、本書籍を紹介させて頂きました。是非ご一読下さい。今後の臨床での参考となれば幸いです。



書籍名：結果の出せる整形外科理学療法

—運動連鎖から全身をみる—

著者：山口光國、福井勉、入谷誠

発行所：株式会社メジカルビュー社

先輩認定理学療法士よりアドバイス

認定理学療法士(学校教育)

学校法人 南学園 鹿児島医療福祉専門学校

白尾 麻美

◆はじめに

私は、鹿児島医療福祉専門学校で理学療法学科専任教員として勤務しています。本学科は、平成7年鹿児島県で最初に厚生労働大臣より認可を受け、今日に至っています。専任教員は12名であり、多くの卒業生が理学療法士として県内で活躍しています。

◆取得しようと思ったきっかけ・分野について

社会・職能面における理学療法の専門性を高めるため、認定理学療法士の取得を目指しました。新人教育プログラム修了者は、7つの専門分野（基礎理学療法、神経理学療法、運動器理学療法、内部障害理学療法、生活環境支援理学療法、物理療法、教育・管理理学療法）のいずれかに登録する必要があります。私は学校教育に携わる者として、「教育・管理理学療法」分野に登録しました。

◆研修会受講・症例報告・試験への対策について

認定理学療法士になるためには、専門分野登録から2年が経過した後、認定理学療法士の試験を受験申請し、合格する必要があります。受験条件として、ポイント審査(160p)と症例報告審査(10例)があります。私の場合、ポイントについては東京での必須研修会(20p)、福岡での指定研修(40p)を受講し、各領域の履修要件に即したポイント(100p)は主に県内の学会・研修会参加にて修得しました。症例報告として担当学生についてのレポートを10例提出し、試験対策としては事前に指定教材を繰り返し復習しました。

◆認定理学療法士を取得して

生涯学習システムは資質向上や職能的水準の引き上げ、自発的な学習の継続を理念として掲げています。学習機会として、「新人教育プログラム」「認定・専門理学療法士制度」「地域包括ケアシステム推進制度」「協会指定管理者制度」が設けられています。

次のステップとして「専門理学療法士」を目指すのはもちろんですが、今後は様々な分野に目を配り、自己研鑽に努めていきたいと考えています。

H30年度(2018年度)、認定理学療法士11名増え、県内で、専門理学療法士27名
認定理学療法士126名の取得となりました。

事務局より

4/23～ 7/6 現在受理分

<学術誌>

鹿児島すこやか長寿プラン 2018	
鹿児島県リハビリテーション施設協議会報	第 14 卷
鹿児島県医師会報	第 803 号
高知県理学療法	第 24 号
第 22 回静岡県理学療法士学会誌	
理学療法研究・長野	第 46 号
理学療法ジャーナル	第 52 卷第 6 号
鹿児島県医師会報	第 804 号
福祉用具・義肢・装具支援に関する啓発と実態調査 報告書	
理学療法新潟	第 21 号
第 69 回北海道理学療法士学術大会 プラグラム集	
理学療法学	第 45 卷 第 3 号
理学療法ジャーナル	第 52 卷第 7 号
障害者自立支援機器の活用のための支援体制構築の活性化に向けた調査研究事業	

<他士会ニュース>

京都No.276 大阪No.267・268 秋田No.182 群馬No.134 静岡No.168 滋賀No.208 新潟No.183 大分No.115

<会員動向>

入会 145 件 県内異動 105 件 転入 6 件 転出 5 件

休会 6 件 休会継続 7 件 復会 5 件 退会 5 件

先生方の名前については控えさせていただきます

会員数 2,725 名

会員所属施設数 440 施設

<役員行動録>

5/7 かがしま JRAT 設立総会 (梅本・平名・坂本)

5/9 九州理学療法士学術大会 2019 準備委員会 (梅本・平名・坂本・弥栄)

5/10 県くらし保健医療福祉部新任あいさつ・県地域支援事業打合せ (梅本・平名)

5/11-12 日本理学療法士連盟中央役員会 (梅本)

5/16 3 役会 (梅本・平名・坂本・弥栄・生駒)

5/18-19 訪問リハビリテーション地域リーダー会議 (弥栄)

5/19 POS 三役打ち合わせ会議 (梅本・平名・坂本)

5/20 県士会総会・理事会・県士会事務局引継 (梅本・平名・坂本・弥栄・生駒)

5/21 鹿児島市長寿支援課打合せ (平名・生駒)

5/24 鹿児島市保健センターとの会議 (生駒)

- 5/25 明治 150 年記念式典 (梅本) 協会指定管理者研修会 (坂本)
- 5/26 第 5 3 回学術研修大会 (坂本)
- 5/27 JPTA 士会機能強化推進執行委員会 (梅本)
- 5/30 訪問リハ研究会事務局会議 (平名・弥栄) リハビリテーション教育評価機構現地調 (梅本)
- 5/31 小里代議士パーティー (梅本)
- 6/2-3 JPTA 代議員会 (梅本・平名・坂本・弥栄・生駒)
- 6/6 POS 連絡協議会 鹿児島市保健所意見交換会 (平名・生駒)
- 6/7 政策検討委員会 (平名・坂本)
- 6/8 規約審議委員会 (平名・坂本・弥栄・生駒)
- 6/9 地域包括ケア・介護予防推進リーダー研修会 (奄美) (梅本・平名・坂本)
- 6/13 九州理学療法士学術大会 2019 準備委員会 (梅本・平名・坂本・弥栄)
- 6/15 POS 連絡協議会総会 (梅本・平名・坂本)
- 6/18 第 1 回教育課程編成委員会 (南学園) (弥栄)
- 6/20 3 役会 (梅本・平名・坂本・弥栄・生駒)
- 6/21 鹿児島県リハビリテーション施設協議会研修会 (梅本)
- 6/23 理事会 (梅本・平名・坂本・弥栄・生駒)
- 6/27 地域包括支援センター打合せ
- 6/28 鹿児島県訪問リハビリテーション研究会事務局会議 (弥栄)
- 7/3 北薩地区リーダー研修 (梅本・坂本)
- 7/5 POS 災害リハ研修打ち合わせ KPTA 会長副会長会議 (梅本・平名・坂本)
- 7/ 6 POS 打ち合わせ (会長事務局長) (梅本・平名・坂本)
- 7/7 南学園 30 周年記念式典及び祝賀会 (梅本)

～編集後記～

本格的な熱さが続きいよいよ夏本番となってきました。今年は、西日本を中心とした記録的豪雨が続き各地で河川の氾濫や土砂崩れ等の被害が相次ぎました。比較的被害の少なかった地域では、日頃から災害マップの配布や避難訓練に力を入れていたそうです。鹿児島県でも各自治体が災害マップを作成しホームページ等に掲載してあるそうです。1 度目を通して頂き、いざという時の助けになれば幸いです。

さて、今回は平成 30 年度 1 回目のWEB版での広報となりました。今後もよりよいものを発信していけるよう努めて参ります。

ご意見等ございましたら、編集部までよろしくお願い致します。

編集部 山田 将史

E-mail : rihabiri@gyokushoukai.com